

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	千代田区建築物環境計画書制度の運用(新築建物の低炭素化)	I-1-a	業務・家庭	【計画を深掘りして実施】 ○建築物環境計画書制度届出件数:40件 ○大規模特定建築物環境評価書届出件数:10件 ○事前協議回数:60回 ○低炭素建築物助成申請件数:5件	【計画を深掘りして実施】 ○建築物環境計画書制度届出件数:60件 ○大規模特定建築物環境評価書届出件数:12件 ○事前協議回数:77回 ○低炭素建築物助成申請件数:2件	a	事前協議の実施により、新築建物のCO2の排出量をより多く削減していく。	○建築物環境計画書制度届出件数:40件 ○大規模特定建築物環境評価書届出件数:10件 ○事前協議回数:60回 ○低炭素建築物助成申請件数:5件
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	グリーンストック作戦【業務版】(既存建物の低炭素化)	I-2-a	業務	○グリーンストック作戦の実施 ○省エネルギー診断実施件数:30件	○グリーンストック作戦の実施 ・周知、説明会の実施 ・報告会の実施 ・ニュースレターの発行 ○省エネルギー診断実施件数:62件	a	○ビルのオーナーとテナントの連携を図る施策が必要である。 ○中小事業者ビルに対して、省エネルギー診断の普及促進を図っていく。	○グリーンストック作戦の実施 ○省エネルギー診断実施件数:30件
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	グリーンストック作戦【業務版】(既存建物の低炭素化)	I-2-b	業務	省エネルギー改修等助成申請件数(事業所ビル):15件	省エネルギー改修等助成制度申請件数(事業所ビル):26件	b	利用の促進を図るため、さらなる周知を行っていく必要がある。	省エネルギー改修等助成申請件数(事業所ビル):15件
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	グリーンストック作戦【マンション版】(既存建物の低炭素化)	I-3-a	家庭	省エネルギー改修等助成を活用した設備導入等の実施	○グリーンストック作戦の実施 ・報告会の実施 ・ニュースレターの発行	b	マンションに対する新たな省エネ手法を検討する必要がある。	省エネルギー改修等助成を活用した設備導入等の実施
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	グリーンストック作戦【マンション版】(既存建物の低炭素化)	I-3-b	家庭	省エネルギー改修等助成申請件数(マンション共用部):10件	省エネルギー改修等助成申請件数(マンション共用部):14件	b	利用の促進を図るため、さらなる周知を行っていく必要がある。	省エネルギー改修等助成申請件数(マンション共用部):10件
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-a	業務	下記施設の新築・大規模改修にあわせ、省エネ改修を実施する。 (1)【計画に追加で実施】九段小学校 (2)【計画に追加で実施】(仮称)区立麴町仮住宅	(1)実施中 (2)実施中  <年度別改修実績> 【平成26年度】神田一橋中学校 【平成28年度】麴町保育園、区営東松下町住宅	a	—	下記施設の新築・大規模改修にあわせ、省エネ改修を実施する。 (1)九段小学校 (2)(仮称)区立麴町仮住宅 (3)(仮称)外神田一丁目計画

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-b	業務	下記施設のLED化を実施 (1)神田さくら館(アフタースクールのLED化) (2)神保町出張所(2階区民館のLED化) (3)九段中等教育学校(校庭照明のLED化) (4)公園灯(宮本公園他8公園にLED公園灯53基を設置予定)	(1)実施完了 (2)実施完了 (3)実施完了 (4)実施完了	b	—	下記施設のLED化を実施 (1)神保町出張所(B1F、1F、3FのLED化) (2)アーツ千代田3331(外部階段) (3)公園灯(神田児童公園他11公園にLED公園灯40基を設置予定)
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-c	業務	○街路灯の省エネタイプへの切り替え ①神田警察通り:事業計画見直し及び再協議 ②明大通り:事業計画見直し及び再協議 ③代官町通り:検討 ④大門通り:検討 ⑤英国大使館西側:検討	○街路灯の省エネタイプへの切り替え ①神田警察通り:Ⅰ期工事の事業計画見直し及び工事継続 ②明大通り:Ⅰ期工事の事業計画見直し及び工事継続 ③代官町通り:工事着手 ④大門通り:Ⅰ期工事整備完了 ⑤英国大使館西側:事業計画見直し	b	—	○街路灯の省エネタイプへの切り替え予定 ①神田警察通り:Ⅰ期工事整備完了 ②明大通り:Ⅰ期工事整備完了 ③代官町通り:工事継続 ④大門通り:Ⅱ期工事整備完了 ⑤英国大使館西側:引き続き検討
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-d		○現行施設への供給継続:12施設(H29.4.1現在) ○供給先の拡大:1施設(昌平童夢館)	○現行施設への供給継続:12施設 ○供給先の拡大:1施設(昌平童夢館)  <年度別導入状況> 【平成22年度】九段小学校・幼稚園(H27.11.2改築工事のため契約終了)、番町小学校・幼稚園、お茶の水小学校・幼稚園 【平成23年度】九段中等教育学校(富士見校舎) 【平成24年度】四番町図書館 【平成25年度】日比谷図書文化館、麴町中学校 【平成26年度】九段中等教育学校(九段校舎) 【平成27年度】飯田橋車庫(管理棟・車庫棟)、三崎町中継所 【平成28年度】一番町児童館、四番町庁舎(四番町児童館・保育園)、外濠公園グラウンド 【平成29年度】昌平童夢館	b	○教育施設への東京エコサービスの導入が進み、他の区有施設への導入がどこまでできるかが不透明である。(東京エコサービスの供給にも限界があるため) ○東京エコサービスと排出係数の低い新電力の両方の導入を進めていく必要がある。 ○区有施設の老朽化が進んでおり、今後改修工事等が予想され、工事の際は、東京エコサービスとの契約が終了になる。	○現行施設への供給継続:13施設
—	高水準な建物のエネルギー対策の推進	区有施設の低炭素化	I-4-e	業務	下記施設へ太陽光発電設備を導入 (1)九段小学校 (2)【計画に追加で実施】(仮称)区立麴町仮住宅 (3)【計画に追加で実施】(仮称)外神田一丁目公共施設(導入検討)	(1)実施中 (2)実施中 (3)実施中	a	—	下記施設へ太陽光発電設備を導入 (1)九段小学校 (2)(仮称)区立麴町仮住宅 (3)(仮称)外神田一丁目公共施設 (4)お茶の水小学校(導入検討) (5)四番町公共施設(導入検討)

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	創エネに対する取組促進と省エネ機器への買い替え促進	I-5-a	業務	省エネルギー改修等助成制度申請件数(事業所ビル):15件	省エネルギー改修等助成制度申請件数(事業所ビル):26件	b	利用の促進を図るため、さらなる周知を行っていく必要がある。	省エネルギー改修等助成制度申請件数(事業所ビル):20件
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	創エネに対する取組促進と省エネ機器への買い替え促進	I-5-b	業務	下記施設へ地中熱利用設備を導入 (1)【計画を深掘りして実施】九段小学校 (2)(仮称)外神田一丁目公共施設(導入検討)	(1)実施中 (2)実施中	a	—	下記施設へ地中熱利用設備を導入 (1)九段小学校 (2)(仮称)外神田一丁目公共施設(導入検討) (3)四番町公共施設(導入検討)
C	高水準な建物のエネルギー対策の推進	創エネに対する取組促進と省エネ機器への買い替え促進	I-5-c	業務	○引き続き、大丸有地区において新築ビル、既存ビルのいずれでも環境負荷が少ない電力エネルギー源の導入に向けた検討を行って行く。 ○【計画を深掘りして実施】大手町パークビル(延床面積約151千㎡/平成29年2月竣工)に、環境負荷が少ない発電設備(太陽光発電)を導入する。	○引き続き、大丸有地区において新築ビル、既存ビルのいずれでも環境負荷が少ない電力エネルギー源の導入に向けた検討を行って行く。 ○大手町パークビルに太陽光発電を導入した。  <導入状況> ・丸の内ビル:太陽光発電 ・日本工業倶楽部会館・三菱UFJ信託銀行本店ビル:太陽光発電 ・丸の内パークビル:太陽光発電 ・新丸の内ビル:木質バイオマス、バイオガス、太陽光発電 ・大手門タワー・JXビル:太陽光発電 ・大手町フィナンシャルシティ グランキューブ:太陽光発電 ・大手町パークビル:太陽光発電	a	○民間企業による環境配慮の事例のPRについて、行政からの支援を強化する必要がある。	○引き続き、大丸有地区において新築ビル、既存ビルのいずれでも環境負荷が少ない電力エネルギー源の導入に向けた検討を行って行く。
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	温暖化対策促進地域の指定	II-1-a	業務	指定制度の運用	エネルギーデザイン策定業務の中で促進地域のあり方に関する検討をした(今後の方向性は未定)。	c	—	指定制度の運用

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
-	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域冷暖房施設の高効率化	II-2-a	業務	(1)新大手町ビルサブプラント冷凍機(平成26年7月竣工):高効率運転の実施 (2)神田駿河台地区第2プラント(平成26年度竣工):高効率運転の実施 (3)【計画に追加で実施】丸の内一丁目センターTR3圧縮機(平成27年12月竣工):高効率運転の実施 (4)【計画に追加で実施】内幸町センターTR1圧縮機(平成28年1月竣工):高効率運転の実施 (5)【計画に追加で実施】グランキューブサブプラント(平成28年3月竣工):高効率運転の実施 (6)【計画に追加で実施】アーバンネット大手町ビルサブプラント冷凍機更(平成29年9月竣工予定):高効率運転の実施 (7)【計画に追加で実施】大手町地区・丸の内一丁目地区間蒸気連携配管工事計画中(竣工時期調整中)	(1)~(5)高効率運転の実施 (6)平成29年9月に竣工後、高効率運転の実施 (7)計画中	a	-	(1)新大手町ビルサブプラント冷凍機(平成26年7月竣工):高効率運転の実施 (2)神田駿河台地区第2プラント(平成26年度竣工):高効率運転の実施 (3)丸の内一丁目センターTR3圧縮機(平成27年12月竣工):高効率運転の実施 (4)内幸町センターTR1圧縮機(平成28年1月竣工):高効率運転の実施 (5)グランキューブサブプラント(平成28年3月竣工):高効率運転の実施 (6)アーバンネット大手町ビルサブプラント冷凍機更新(平成29年9月竣工):高効率運転の実施 (7)大手町地区・丸の内一丁目地区間蒸気連携配管工事計画(竣工時期調整中)
-	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域冷暖房施設の高効率化	II-2-b	業務	(1)(仮称)大手町1-1計画プラント(大手町パークビルサブプラント)(平成29年1月竣工):高効率運転の実施 (2)(仮称)大手町2-1計画プラント(大手町プレイスサブプラント)新設工事中(平成30年7月竣工予定) (3)【計画に追加で実施】(仮称)丸の内3-2計画プラント(丸の内二重橋プラント)新設工事中(平成30年10月竣工予定)	(1)高効率運転の実施 (2)~(3)工事中	a	-	(1)大手町パークビルサブプラント(平成29年1月竣工):高効率運転の実施 (2)大手町プレイスサブプラント新設工事中(平成30年8月竣工予定) (3)丸の内二重橋プラント新設工事中(平成30年10月竣工予定)
-	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域冷暖房施設の高効率化	II-2-c	業務	(仮称)大手町1-1計画プラント(大手町パークビルサブプラント)中水熱ヒートポンプシステム(平成29年1月竣工):未利用エネルギーの活用	未利用エネルギーの活用	b	-	未利用エネルギーの活用
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-a	業務	○グリーン物流システムの今後の展開を検討 ○参加事業者の拡大	グリーン物流システムの今後の展開を検討	c	搬送時間や日時等の利便性が低くなることから、共用配送への参加事業者が少ない。	○グリーン物流システムの今後の展開を検討 ○参加事業者の拡大
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-b	業務	「千代田区自転車利用ガイドライン」に基づき、自転車通行環境事業に取り組む。 ○自転車道の整備 ①神田警察通り:事業計画見直し及び再協議 ②明大通り:事業計画見直し及び再協議 ○交通安全地域整備(ゾーン30等)の実施 ①富士見・九段北地区 ②外神田六丁目地区	○自転車道の整備 ①神田警察通り: I 期工事の事業計画見直し及び工事継続 ②明大通り: I 期工事の事業計画見直し工事継続 ○交通安全地域整備(ゾーン30等)の実施 ①富士見・九段北地区:整備実施 ②外神田六丁目地区:整備実施	b	-	○自転車道の整備予定 ①神田警察通り: I 期工事整備完了 ②明大通り: I 期工事整備完了 ○交通安全地域整備(ゾーン30等)の実施予定 ①一番町、三番町、四番町地区 ②神田猿楽町地区

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-c	業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H29.10月以降の事業方針の整理</li> <li>○ポートの拡大・適正配置の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公・民有地に加え、道路上への設置を推進</li> </ul> </li> <li>○広域連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連携(相互乗り入れ)を継続</li> <li>・東京都及び連携区との検討・協議を継続</li> </ul> </li> <li>○普及・啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員登録数:62,955件(26,771件増)</li> <li>・総利用回数:1,364,877回(725,365回増)</li> </ul> </li> <li>○H29.10月以降の事業方針の整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験の分析調査を実施し、成果と課題を洗い出し、10月以降の事業方針を整理した(実証実験継続)</li> </ul> </li> <li>○ポートの拡大・適正配置の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポート数:62箇所(5箇所増。内、道路上は1箇所)</li> </ul> </li> <li>○広域連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連携を継続(渋谷区が加わり7区連携に)。</li> <li>・本格実施に向けた課題について、都及び連携区との検討・協議を実施(計26回)</li> </ul> </li> <li>○普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、HP、広報紙、リーフレット、メディア取材、行政視察対応により普及啓発を実施</li> </ul> </li> </ul>	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポート適正配置の推進</li> <li>○広域連携の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポート適正配置の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・300m適正配置に向けて空白地帯の解消を図る。</li> </ul> </li> <li>○広域連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、基本的事項の合意形成を進め、連携区との基本協定の締結を目指す。</li> <li>・公開空地、道路、公園におけるポートのあり方などこれまでの課題を踏まえ、都との役割分担を整理する。</li> </ul> </li> </ul>
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-d	業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6台の庁有車を低CO2車(ハイブリット&lt;リース&gt;)で運転</li> <li>○1台の庁有車を水素自動車で運転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6台の庁有車を低CO2車(ハイブリット&lt;リース&gt;)で運転</li> <li>○1台の庁有車を水素自動車で運転</li> </ul>	b	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○車両数を6台から7台へ</li> <li>○1台の庁有車を水素自動車で運転</li> </ul>
C	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	地域交通における低炭素化の推進	II-3-e	業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エコめぐりガイドの作成・配布(EV充電場所の掲載)</li> <li>○本庁舎地下1階に設置の電気自動車用急速充電スタンドの保守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エコめぐりガイドの作成・配布(EV充電場所の掲載)</li> <li>○本庁舎地下1階に設置の電気自動車用急速充電スタンドの保守</li> </ul>	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>○急速充電器のみ使用時の駐車料金の取扱い</li> <li>○急速充電器の有料化の是非</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エコめぐりガイドの配布(EV充電場所の掲載)</li> <li>○本庁舎地下1階に設置の電気自動車用急速充電スタンドの保守</li> </ul>
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	ヒートアイランド対策の推進	II-4-a	業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歩道には保水性ブロック、車道には遮熱性舗装等の実施</li> <li>○緑化推進要綱及びヒートアイランド対策助成により、緑化の創出を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化推進要綱の一部改正を検討</li> <li>・緑化指導による創出面積:基準値の130%以上</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歩道には保水性ブロック、車道には遮熱性舗装等の実施</li> <li>○緑化推進要綱及びヒートアイランド対策助成により、緑化の創出を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化受理件数:47件</li> <li>・緑化創出面積:8,257㎡</li> <li>・緑化指導による創出面積/基準面積:102%</li> </ul> </li> </ul>	b	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歩道には保水性ブロック、車道には遮熱性舗装等の実施</li> <li>○緑化推進要綱及びヒートアイランド対策助成により、緑化の創出を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化推進要綱の一部改正を検討</li> <li>・緑化指導による創出面積:基準値の130%以上</li> </ul> </li> </ul>
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	ヒートアイランド対策の推進	II-4-b	業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大手町ホトリアのホトリア広場有効活用方法について関係者で検討し、実行する。</li> <li>○大規模建築計画において、緑地の多面的な機能の創出の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大手町ホトリアにおいて、約3,000㎡のホトリア広場を整備した。(平成29年1月竣工)</li> <li>ホトリア広場を活用したエリア就業者とその家族、グループ社員他が参加する生物調査、セミナー等のイベントを開催。</li> <li>○大規模建築計画において、緑地の多面的な機能の創出の促進は引き続き検討していく。</li> </ul>	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民協働のもと、運営方法について適宜、課題整理と改善検討を行う。</li> <li>○まとまった大きさの緑地であり、地域活性化のための有効なイベント開催等の可能性がある。関係者とさらに検討をしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大手町ホトリアのホトリア広場有効活用方法について関係者で検討し、実行する。</li> <li>○大規模建築計画において、緑地の多面的な機能の創出の促進を検討していく。</li> </ul>

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	ヒートアイランド対策の推進	II-4-c	業務	○ヒートアイランド対策助成申請件数:17件 ○助成制度の見直し	○申請件数:10件 ・緑化:0件 ・高反射率塗料:5件 ・日射調整フィルム:5件 ・ドライ型ミスト発生装置:0件	b	助成件数が低下しているため、制度の見直しや周知方法の検討を実施する必要がある。	○ヒートアイランド対策助成申請件数:17件 ○助成制度の見直し
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-a	業務	技術革新を取り込みながら継続的な見直しを検討	エネルギーデザイン策定業務の中で大丸有地区における面的エネルギー利用の導入について、最新の技術革新の動向を踏まえ、検討した。	b	—	技術革新を取り込みながら継続的な見直しを検討
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-b	業務	情報共有	情報共有	b	本構想は霞が関における官庁施設の建替え計画と併せての実施を前提としており、平成29年度は官庁施設の建替え計画に進捗が見られなかったため、関係機関(官庁)の動向を見守っている。	情報共有
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-c	業務	地域エネルギーデザインに基づき、拠点開発における面的エネルギー利用の導入について継続的に検討する。	地域エネルギーデザインに基づき、拠点開発における面的エネルギー利用の導入について検討した。	b	—	地域エネルギーデザインに基づき、拠点開発における面的エネルギー利用の導入について継続的に検討する。
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-d	業務	技術革新を取り込みながら継続的な見直しを検討	エネルギーデザイン策定業務の中で既成市街地における面的エネルギー利用について、最新の技術革新の動向を踏まえ、検討した。	b	—	技術革新を取り込みながら継続的な見直しを検討
—	まちづくりの機会と場を活かした面的対策の推進	面的な千代田区エネルギーデザインの推進	II-5-e	業務	地域エネルギーデザインに基づき、事業者支援のための区の具体的な体制整備について継続的に検討する。	地域エネルギーデザインに基づき、事業者支援のための区の具体的な体制整備の検討をした。	b	—	地域エネルギーデザインに基づき、事業者支援のための区の具体的な体制整備について継続的に検討する。

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
E	地域連携の推進	都心の低炭素化と地方の活性化の両立	Ⅲ-1-a	業務	○森林整備面積:約10ha ○カーボン・オフセットの実施	○森林整備面積:7.17ha ○カーボン・オフセットの実施	b	—	○森林整備面積:約10ha ○カーボン・オフセットの実施
E	地域連携の推進	都心の低炭素化と地方の活性化の両立	Ⅲ-1-b	業務	○植樹ツアーの実施 参加者:30名 ○【計画を深掘りして実施】カーボン・オフセットの実施	○植樹ツアーの実施 参加者:13名 ○【計画を深掘りして実施】カーボン・オフセットの実施	a	参加者増のための対策検討	○植樹ツアーの実施 参加者:30名 ○カーボン・オフセットの実施
D	地域連携の推進	区内で学び働く層間区民の温暖化対策行動の促進	Ⅲ-2-a	業務	温暖化配慮行動計画書制度の実施	温暖化配慮行動計画書制度の実施	b	—	温暖化配慮行動計画書制度の実施
D	地域連携の推進	区内で学び働く層間区民の温暖化対策行動の促進	Ⅲ-2-b	業務	○温暖化配慮行動計画書制度提出件数:250事業所 ○優良な取組み(最優秀賞、優秀賞、特別賞、環境配慮賞)を表彰 ○事例集を発行	○温暖化配慮行動計画書制度提出件数:264事業所(義務提出者229、任意提出者35) ○優良な取組みを表彰:4事業所 ○事例集(「御仕事“恵呼化”見本帖」)を区内大学生と協働し作成、発行:3,000部	b	—	○温暖化配慮行動計画書制度提出件数:270事業所 ○優良な取組み(最優秀賞、優秀賞、特別賞、環境配慮賞)を表彰 ○事例集を発行
D	地域連携の推進	区内で学び働く層間区民の温暖化対策行動の促進	Ⅲ-2-c	業務	【区】 ○千代田エコシステム推進協議会への支援(会費・補助金等)・協働 【千代田エコシステム推進協議会】 <主催> ○CESクラスⅢに係る監査(86事業所) ○ZEB施設見学会(29名) ○CES環境活動普及助成制度の創設 ○身近な木のすごいパワーを感じるワークショップ(31名) ○環境配慮宣言事業 ○出前授業事業 ○養蜂プロジェクト <その他イベントへの参加> ○ちよだ環境まつり ○区内一斉打ち水 ○福祉まつり ○エコ&サイクルフェア2017 <冊子の発行(協働)> ○エコチヨ	【区】 ○千代田エコシステム推進協議会への支援(会費・補助金等)・協働 【千代田エコシステム推進協議会】 <主催> ○CESクラスⅢに係る監査(86事業所) ○ZEB施設見学会(29名) ○CES環境活動普及助成制度の創設 ○身近な木のすごいパワーを感じるワークショップ(31名) ○環境配慮宣言事業 ○出前授業事業 ○養蜂プロジェクト <その他イベントへの参加> ○ちよだ環境まつり ○区内一斉打ち水 ○福祉まつり ○エコ&サイクルフェア2017 <冊子の発行(協働)> ○エコチヨ	b	CESの認知度はまだ低い。CESの認知度を向上させ、会員の拡大を図っていくため、事業内容を検討する必要がある。	【区】 ○千代田エコシステム推進協議会への支援(会費・補助金等)・協働 【千代田エコシステム推進協議会】 ○CESの普及拡大 ○各種イベントや講演会等の実施

様式2

個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
D	地域連携の推進	区内で学び働く層間区民の温暖化対策行動の促進	Ⅲ-2-d	業務	○自動販売機消灯キャンペーン:557台 ○環境連携会議の開催:1回	○自動販売機消灯キャンペーン終了 ○環境連携会議の開催:1回	b	—	○環境連携会議の開催:1回
D	地域連携の推進	大丸有地区における“エコツツェリア”を中心とした啓発活動の実施	Ⅲ-3-a	業務	○「エコツツェリア協会」の取組みの推進 ○「3×3 Lab Future」のより効果的な利用について検討、実施	○「エコツツェリア協会」の取組みの推進(エリア内各所、3×3 Lab Futureを中心としたイベント、セミナー等の実施) ・丸の内朝大学:年間合計1,484名 ・丸の内プラチナ大学(7~11月)8講座 112人受講 ・CSV経営サロン2017:セミナー5回実施(延202名参加) ・大丸有地区打ち水夏祭り2017:7月23日~8月26日 ・夏休みエコキッズ探検隊2017:7月22日~8月21日	b	○認知度を向上させるとともに、さらなる協力企業・団体を発掘する。 ○地区内の企業、関係者へ活動内容の浸透を図る。 ○個別イベントの認知度向上と周辺地区との連携による賑わいの広まりを図る。	○「エコツツェリア協会」の取組みの推進 ○「3×3 Lab Future」のより効果的な利用について検討、実施
D	地域連携の推進	大丸有地区における“エコツツェリア”を中心とした啓発活動の実施	Ⅲ-3-b	業務	○「大丸有エコ結び」の継続実施(前年度比収入増を目標とする) ○環境基金を、森を守る活動や環境啓発イベント等の運用に活用する(新規案件の採用も検討していく)。	○「大丸有エコ結び」の継続実施 2009年度から2017年度末までに集まった基金:8,067万円 2017年度基金実績:1,733万円 ○基金のイベント等への活用事例 ・夏イベント(打ち水やエコキッズ)への協賛 ・丸の内ラジオ体操への支援 ・清掃活動への支援 ・国産材ワークショップ実施 ・丸の内ハニープロジェクト実施支援 ・生物多様性に係る取組への支援(生き物モニタリング活動等)	b	○参加店舗の増加 ○環境基金の有効な活用方法の検討	○「大丸有エコ結び」の継続実施(前年度比収入増を目標とする) ○環境基金を、森を守る活動や環境啓発イベント等の運用に活用する(新規案件の採用も検討していく)。
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-a	家庭	○環境カレンダーの作成・配布:10,000部(A4版壁掛けタイプカレンダー:9,000部、卓上版カレンダー:1,000部) ○エコめぐりガイドの作成・配布:10,000部 ○地球環境学習のチャレンジ集の作成・配布 ○エコドライブ講習会の実施 参加者:20名	○環境カレンダーの作成・配布:10,000部(A4版壁掛けタイプカレンダー:9,000部、卓上版カレンダー:1,000部) ○エコめぐりガイドの作成・配布:10,000部(作成は2年に1度) ○地球環境学習のチャレンジ集の作成・配布:5,000部(作成は2年に1度) ○エコドライブ講習会 参加者:22名	b	○エコドライブについて、庁有車運転届出職員、委託運転手の受講を推進する。	○環境カレンダーの作成・配布:10,000部(A4版壁掛けタイプカレンダー:9,000部、卓上版カレンダー:1,000部) ○エコめぐりガイドの配布 ○地球環境学習のチャレンジ集の配布 ○エコドライブ講習会の実施 参加者:25名

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-b	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境月間イベントの実施</li> <li>○環境作品展の開催</li> <li>○夏休み子どもエコ教室の実施</li> <li>○他機関イベントへの参加</li> <li>○環境教育の実施</li> <li>○観察会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境月間イベントの実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境まつり 参加者:688名</li> <li>・環境月間講演会 参加者:57名</li> <li>・ゴーヤ・ハーブの苗(1株ずつ)の配布(計450セット)</li> <li>希望者には、ゴーヤをもう1株配布。</li> </ul> </li> <li>○環境作品展の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境啓発ポスター:403枚</li> <li>・環境標語:818点</li> <li>・優秀作品(標語)12点を表彰</li> </ul> </li> <li>○夏休み子どもエコ教室の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス管を使って万華鏡をつくってみよう!</li> <li>西神田児童センター(29名)</li> <li>神田児童館(28名)</li> <li>四番町児童館(25名)</li> </ul> </li> <li>○他機関イベントへの参加                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりとふれあうフェスティバル</li> <li>・丸の内盆踊りまつり2017</li> <li>・エコ&amp;サイクルフェア2017</li> <li>・エコプロ2017</li> </ul> </li> <li>○環境教育の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・(麴町幼稚園)栽培活動、バケツ稲作</li> <li>・(番町幼稚園)土づくり、苗植え</li> <li>・(千代田幼稚園)北の丸公園での自然ふれあい</li> <li>・(いずみこども園)種まき、苗植え</li> <li>・(ふじみこども園)園庭での植栽活動</li> <li>・(麴町小学校)花壇やビオトープの整備</li> <li>・(九段小学校)北の丸公園での自然体験</li> <li>・(和泉小学校)和泉校園等での自然体験</li> <li>・(麴町中学校)理科サークルで蛍の飼育</li> <li>・(九段中等教育学校)5年生、科目「保健」で学習</li> <li>・(区内小学校の5年生)孺恋で野菜の植え付け収穫体験</li> </ul> </li> <li>○観察会の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミ羽化観察会:2回</li> <li>・生きものさがし観察会:2回</li> </ul> </li> </ul>	b	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境月間講演会は、ターゲットの絞り込みと開始時間の検討をする必要がある。</li> <li>○環境作品展は、区内私立中学校などにも参加してもらえるように広く募集を行う。</li> <li>○夏休み子どもエコ教室は、実施メニューを増やすなど参加者の増加を図る。</li> <li>○環境教育の実施は、今後も子どもの興味関心に応じて、身近な環境や宿泊行事等を通して環境教育を充実させていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境月間イベントの実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境まつり</li> <li>・環境月間講演会</li> <li>・ゴーヤ苗等の配布</li> </ul> </li> <li>○環境作品展の開催</li> <li>○他機関イベントへの参加</li> <li>○夏休み子どもエコ教室の実施</li> <li>○環境教育の実施</li> <li>○観察会の実施</li> </ul>
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-c	家庭	省エネルギー改修等助成制度申請件数(一般家庭):100件	省エネルギー改修等助成制度申請件数(一般家庭):172件	a	利用の促進を図るため、さらなる周知を行っていく必要がある。	省エネルギー改修等助成制度申請件数(住宅):100件
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-d	家庭	省エネ診断件数:3件	省エネ診断件数:1件	c	利用の促進を図るため、さらなる周知を行っていく必要がある。	省エネ診断件数:3件

様式2  
個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-e	家庭	家庭用LED照明購入支援制度申請数:10件	家庭用LED照明購入支援制度申請数:4件	c	—	「エコ・アクション・ポイント事業(EAP)」運営事業者の撤退及び登録者減少のため、事業廃止
D	地域連携の推進	家庭部門の対策(建築、設備、エネルギー管理)	Ⅲ-4-f	家庭	○イベント参加者へのエコ・アクション・ポイント配付数:2,200枚 ○家庭用LED照明購入支援制度申請数:10件 ○環境家計簿・省エネチャレンジ:5件・3件 ○エコ活動を実践する団体・グループへの支援:1件	○イベント参加者へのエコ・アクション・ポイント配付数:1,669枚 ○家庭用LED照明購入支援制度申請数:4件(エコ・アクション・ポイント9,000ポイント配付) ○環境家計簿・省エネチャレンジ:4件・3件 ○エコ活動を実践する団体・グループへの支援:0件	b	エコ・アクション・ポイントの配付に対し、登録数を向上させる。	「エコ・アクション・ポイント事業(EAP)」運営事業者の撤退及び登録者減少のため、事業廃止
E	地域連携の推進	千代田区の特徴を活かした波及効果の最大化	Ⅲ-5-a	業務	事業計画の検討、調整	事業計画の検討、調整	b	—	事業計画の検討、調整
D	地域連携の推進	体感型地球温暖化対策の推進	Ⅲ-6-a	業務	候補地の検討	関係部署と調整	b	候補地を決定するためには、関係部署との調整が必要である。	候補地の検討
D	地域連携の推進	体感型地球温暖化対策の推進	Ⅲ-6-b	業務	○区内一斉打ち水の実施 参加団体等:30団体 ○打ち水月間オープニングイベントの実施 ○打ち水用具の貸出し:20件	○区内一斉打ち水 参加団体等:33件 ○打ち水月間オープニングイベント 参加者:80名 ○打ち水用具の貸出し:21件	b	打ち水を地域全体で実施するために、区内一斉打ち水をきっかけとして、事業所を中心に参加者を増やす必要がある。	○区内一斉打ち水の実施 参加団体等:35件 ○打ち水月間オープニングイベントの実施 ○打ち水用具の貸出し:25件
E	地域連携の推進	地球温暖化対策推進のためのサポート機能の充実・情報発信	Ⅲ-7-a	業務	相談件数:1,215件	相談件数:約1,215件以上(事前協議制度により増) ・助成制度や建築物環境計画書制度に関する相談への対応 ・建物の省エネ手法に対する相談 ・緑化に関する相談	b	よりわかりやすいHPやパンフレットを作成する。	相談件数:1,215件(243日×5件/日)

様式2

個別事業に関する進捗状況報告書

団体名 千代田区

フォローアップ項目	取組方針	取組内容	資料番号	部門	平成29年度の計画	平成29年度の進捗			平成30年度の展開
					計画	進捗状況	計画との比較	課題	計画
E	地域連携の推進	地球温暖化対策推進のためのサポート機能の充実・情報発信	Ⅲ-7-b	業務	○地球温暖化対策推進懇談会の開催:2回 ○推進本部会議の開催:2回	○地球温暖化対策推進懇談会の開催:2回 ○推進本部会議の開催:2回	b	—	○地球温暖化対策推進懇談会の開催:2回 ○推進本部会議の開催:2回

※1 アクションプラン上、平成29年度に取り組む(検討を含む。以下同じ。)こととしていた主要事業(アクションプラン様式4取組内容詳細個票)についてのみ記載すること。  
 (フォローアップ項目、取組方針、取組内容、資料番号は、アクションプランから該当部分を転記すること。)  
 なお、平成29年度に新規追加を行った主要事業については、アクションプラン様式4取組内容詳細個票を作成のうえ記載すること。

※2「計画との比較」欄は、アクションプランへの記載と比した進捗状況を示すものとし、「平成29年度計画」と「取進捗状況」欄を比較して、以下の分類によりa)～d)の記号を選択すること。

a) 計画に追加/計画を前倒し/計画を深掘りして実施、b) ほぼ計画通り、c) 計画より遅れている、d) 取り組んでいない